

誰かのために子供たちが大活躍！

まんだだより 郷土愛・学校愛 貢献意識向上

この地域を守って
いくのは子供たち



②校内の全てのトイレをそうじや片付けをする6年生

①始業前に落ち葉そうじをする5年生

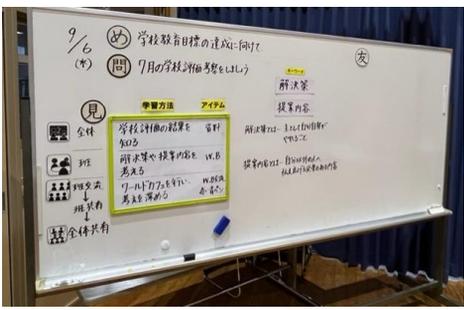
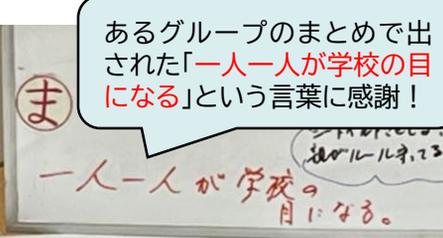


④地域の伝統行事を受け継ぐ2年生の巫女舞さんたち

③校外学習で遅くなった1年生の給食配膳を手伝う6年生

夏休みが明けて3週間が過ぎますが、この間、学校のため・みんなのため・地域のためにがんばろうとする子供たちの姿に頭の下がる思いをしています。「自分は誰かの役に立っている」という思いのことを、「自己有用感」と言いますが、子供たちのこうした活動を行っているときの表情が、実にすがすがしく、瞳を輝かせています。本校の教育目標は、「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」ですが、教育活動のあらゆる場面で、子供たちが活躍できているという実感を感じているのではないのでしょうか。④四山神社例大祭に奉納された「豊栄の舞」は、今回2年生4名が初挑戦。地域のために伝統を受け継ぐ大役を見事果たしました。

～今回の主な記事～
◆郷土愛・学校愛 貢献意識向上
誰かのために子供たちが大活躍！
◆第3回学校運営協議会開催



第3回学校運営協議会開催
9月6日に今年3回目となる「学校運営協議会」を開催しました。今回は、子供たちは参加せず、委員さんたちだけでの話し合いでした。第1回目の学校評価結果をもとに、子供たちが日頃から授業で取り組む「あらおベーシック」の手法で「学校教育目標の達成に向けて」というめあてを設定し、「解決策」「提案内容」について話し合いました。

次回第4回の協議会は、11月22日の研究発表会当日に、子供たちと合同で「地域づくり」について話し合いを公開することになります。
※会議の詳細は本校HPをご覧ください。